

頻発する  
自然災害

代理店の役割



# 自らの体験をお客様に伝え、役立てる

関西保険ライフ株式会社 代表取締役会長 藤森 春夫氏

毎年のように、台風や集中豪雨、突風・竜巻、豪雪など、自然の猛威によつて全国各地で甚大な被害が繰り返し発生している。昨夏も、近畿中部を中心に記録的な大雨が降り、大阪・京都で死者・行方不明者3名、がけ崩れや住宅への浸水などで約8800棟に被害が出た。その水害で、大阪府枚方市の関西保険ライフ株式会社(藤森春夫代表取締役会長、社員数6名)も被災した。昨年9月にリニューアルオープンを果たしたが、当日の状況や復旧に至るまでの苦労のほか、代理店として自然災害とどう向き合った地域でどういう役割を果たしていくべきかを聞いた。

## 昨夏の記録的大雨で被災

事務所近隣の店舗や家屋も床上浸水に

— 被害に遭われたが、水が溢れ出し、周辺の道路は冠水して川のよ

いします。

藤森 昨年8月14日

(火)の未明から早朝に

かけて、激しい雷と大雨

が途切れることなく続

き、その音で何度も目を

覚ました。大阪や京

都を中心とした畿内地方は記

録的な大雨に見舞われた

のですが、ところに枚方市

では最大1時間降水量が

91ミリにも達し、この地

域の観測史上1位の値を

更新しました。

その日は、夏季休暇中

だったのですが、事務所

の理髪店の方から早朝

に「川が氾濫して、事務

所に水が入ってきていま

す」と電話をもらいました。

事務所の横に小さな川が流れているのです

— と思いつつ、休み中の社員に応援を頼みました。へ

うな状態となりました。通常の排水能力を超える雨の量だったことと、地方には殺菌・消毒作業ま

で終えることができまし

たため、大量の雨水が

集まってしまいました。近隣のほとんど

の店舗や家屋は床上浸水

の被害に遭いました。ひ

どいところでは腰のあたり(床60~70センチ)まで水に浸かりました。

幸いにも、当社の事務

所は入り口部分が階段になっていたおかげで、床

いと思い、休み中の社員に応援を頼みました。へ

— 被害としては、駐車場も冠水し

たため、社有車が1台水没して走行不能になり、

床に直接ハードディスク

修理が必要となりま

す。

顧客データをはじめ社内データは大

いと思いました。

— 本当に困りました。

— 被害としては、

電話の配線が床下にあり

修理が必要となりま

す。

代理店という商売柄、特殊な什器・備品があるわけでもなく、在庫もパ

ラントレットぐらいないので動かなくななりました。あ

ンフレットぐらいないの

で、近隣のほとんどが、水害のほとんどがどこか真いがとれず、

と絨毯、壁のクロス、事

で、近所の飲食店や小売

店などに比べると被害は

小さくほんと想いま

す。

— 事故の対応など様々

してお風呂に入つても、

なかなか真いがとれず、

と感じました。

そこで、想像していた以上

に精神的、肉体的に辛いものがあります。こうい

う経験はもう一度と味わいたくないというのが本音です。

— そういう辛さ、同時に、そういう辛さ、

小さな災害が発生し、すべ

てのデータがなくなつてしまつたらと考えると、

少し怖くなりました。代

理店においても事業継続

回復が何より重要だといふことを痛感しました。

それも、早ければ早いほどいいということです。

藤森

これまで事故や

災害に遭られたお客様から報告を受け、現場に行つたり、保険金の請求手続きを手伝つたりして、一般の人に比べると、その大きさはわかっています。自分の立場に自分がそういう立場にあって初めてわかることがあります。自分がそういう立場にいるつもりでしたが、実際あまりにも多くあります。想像していた以上

に精神的、肉体的に辛いものがあります。こうい

う経験はもう一度と味わいたくないというのが本音です。



水が引いた後の事務所内(上)と玄関(下)



昨年9月3日にリニューアルオープン

## 保険の大切さを肌身で感じる

社員一丸となり短期間でリニューアル

— 業務はいつから再開されたのですか。

藤森 夏季休暇明けの16日(木)からの業務再開は結局無理でした。そ

の週は、備品や書類の仕

分け作業、掃除、市役所

への大型ゴミの収集依

托などでした。

とにかく事務所に流れ込んできた泥水を

かき出すこと

と、泥だらけ

になって使い

物にならない

備品の片付け

など業務に必要なものをす

べて、被害がなかった

2階へと移す作業も並行

で行いました。

到底私一人で

手に負えな

そんな中、最優先で行

を兼ねた訪問などの活動

はございません。

とも多かったです。

ただ、当社の場合は2階があつたおかげで、内装などの工事中でも一日

も休むことなく業務を続

けてることができ、その点

では助かりました。また

こういう非常時でした

が、社員全員がそれぞれ

の役割をきつり果たし

てくれて、結束力も増し

たように思います。

— 被災してから約

半月というかなりの短期

間でしたが、電話トイ

ンターネットがつながる

ようになり、翌週の月曜

2階に移動したため、か

ら、早く通常の業務ができる

態勢に戻すことだけを考

えて、いきました。

藤森 とにかく1日も

かかる

だと思いました。

ただ、元気をも

と見せることができ

ました。

私が個人代理店として

の皆さんにも感謝してい

ます。長靴、軍手持参で、

掃除や後片付けの応援に

いらっしゃり、「ひ

近く所に配

つてください」とタオル

を持って来てくださった

うが、社員たちがいま

たから、そんなことは一

心強かったです。通りが

かわからぬ災害への備

えについて、真剣に考

えました。

藤森 これまで事故や

災害に遭られたお客様から報告を受け、現場に行つたり、保険金の請求手続きを手伝つたりして、一般の人に比べると、その大きさはわかっています。自分がそういう立場になつて初めてわかることがあります。自分がそういう立場になつて初めてわかることがあります。想像していた以上

に精神的、肉体的に辛いものがあります。こうい

う経験はもう一度と味わ

いたくないというのが本

音です。

— 事故の対応など様々

してお風呂に入つても、

苦労を乗り越え、元気を

取り戻すために、原状

回復が何より重要だとい

うことを感じました。

それでも、普通どおり

の業務というわけにはい

かないでやっていたとし

て、年齢のな

どを考えると、廃業も選

択肢としてあつたでしょ

うが、社員たちがいま

たから、そんなことは一